

掛川市大須賀第二地区まちづくり協議会

第二次 5 年計画

令和 3 年度(2021)~令和 7 年度(2025)

掛川市大須賀第二地区まちづくり協議会
令和 3 年(2021)5月21日

も く じ

内 容	頁
も く じ	1
大須賀第二地区まちづくり協議会 会長あいさつ	2
大須賀第二地区まちづくり協議会 第二次5カ年計画の流れ	2
大須賀第二地区まちづくりアンケート結果	4
地域活性化部会	10
環境美化部会	11
地域安全部会	13
広 報 部 会	15
企 画 委 員 会	16

会長挨拶 大須賀第二地区まちづくり協議会会長 内藤 澄夫

平成28年に大須賀第二地区まちづくりの第一次5カ年計画が作成されました。

5カ年計画の最終年度である令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響という人類が遭遇するウイルス症の中でも歴史に残るであろう新型ウイルスとの闘いの開始の年でもありました。

コロナ禍という中で、会社や学校でもリモートワークやオンライン授業等による非接触型の新しいコミュニケーションの取り方、社会の仕組みが変わりつつある年度となりました。

まちづくり協議会でも活動制限される中、第二次5カ年計画を本日発表できることを本当にうれしく思います。

大須賀第二地区まちづくり協議会第二次5カ年計画策定の流れ

第一次5カ年計画の検証のため、住民アンケートを行い、それに基づきワークショップも開催しました。

大変厳しいご意見も多数頂戴しました。皆様から頂いたご意見を4ページから9ページに掲載しました。

課題の多い中で、

- 地域安全部会 各字町の自主防災組織の確立
- 地域活性化部会 城跡活用イベント（鯉のぼり、七夕飾りなど）
- 地域活性化部会 エコ・ウォーキング大会

などを継続及び新規事業として取り組むこととしました。

アンケート、ワークショップを進める中で、まち協の組織問題(役員の任期複数年化、役員のなり手不足等)については、今後1年間住民の皆様のご意見をしっかり受け止める中で、解決策を探ってゆく所存です。

まちづくり協議会は、皆様の知識、経歴、経験が必要です。より良い『まち協』として、皆様と共に育てていけたらと思います。5年後のより良いまちづくりに向かって、住民の皆様のご積極的なご参加とご協力をお願いします。

NO	日付	内 容
1	令和2年6月16日	理事会にて「第二次5カ年計画策定」スケジュール決定
2	7月10日	区長会にて全戸アンケート用紙配布及び回収依頼
3	8月7日	区長会でアンケート回答書の回収
4	9月7日	理事会でアンケートの結果を報告
5	9月16日	まち協事務局及びまち協会長より「アンケート結果」と「要望事項」を掛川市役所協働推進課へ伝達
6	10月25日	ワークショップAグループ開催 於：2階研修室
7	11月1日	ワークショップBグループ開催 於：2階研修室
8	11月	ワークショップの内容分析
		アンケート及びワークショップを受けて各部会・委員会にて第一次5カ年計画の反省及び計画策定案を検討
9	11月30日	広報部会開催
10	12月1日	地域安全部会開催
11	12月3日	環境美化部会 役員会開催
12	12月4日	企画委員会開催
13	12月8日	地域安全部会開催
14	12月11日	地域活性化部会開催
15	12月22日	理事会にて各部会・委員会の5カ年計画案について検討
16	令和3年1月8日	臨時理事会にて各部会・委員会の5カ年計画案について討議
17	1月16日	地域活性化部会・企画委員会合同会議開催
18	1月19日	理事会にて各部会・委員会の5カ年計画案について討議
19	2月16日	理事会にて各部会・委員会の5カ年計画案について修正提示
20	4月20日	理事会にて各部会・委員会の5カ年計画案の最終修正
21	5月21日	大須賀第二地区総会にて第二次5カ年計画案承認

大須賀第二地区まちづくりアンケート結果

令和2年9月

総合	男性	303	女性	153	合計	456	世帯数	710	回答率	64%
----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----

<設問>

- ① 安全なまち
- ② 緑が多いまち
- ③ 活気があるまち
- ④ 近所づきあいがよいまち
- ⑤ 地域活動が盛んなまち
- ⑥ 清潔できれいなまち
- ⑦ 日常生活(買物等)に便利なまち
- ⑧ 子供の教育(生活)に便利なまち
- ⑨ お年寄りの生活に便利なまち
- ⑩ 伝統・歴史や文化に誇りと愛着を持てるまち
- ⑪ 総合的にみて生活しやすいまち

	そう思う				どちらともいえない				思わない			
	男性	女性	合計	%	男性	女性	合計	%	男性	女性	合計	%
①	178	80	258	57%	113	64	177	39%	12	4	16	4%
②	230	99	329	72%	63	40	103	23%	13	9	22	5%
③	25	8	33	7%	146	80	226	50%	130	66	196	43%
④	136	56	192	42%	143	86	229	50%	25	13	38	8%
⑤	90	40	130	29%	153	83	236	52%	54	34	88	19%
⑥	99	42	141	32%	169	78	247	55%	31	28	59	13%
⑦	49	16	65	14%	102	51	153	33%	153	92	245	53%
⑧	44	17	61	13%	140	75	215	47%	116	64	180	39%
⑨	29	11	40	9%	100	61	161	35%	169	95	264	57%
⑩	146	73	219	48%	121	65	186	41%	34	13	47	10%
⑪	77	43	120	26%	148	85	233	50%	74	36	110	24%
計	1,103	485	1,588	32%	1,398	768	2,166	43%	811	454	1,265	25%

大須賀第二地区まちづくりアンケート(まとめ)

質問2. 大須賀第二地区の良い(大切にしたい)と思われるところは、どんなところですか？

<自然・環境・風景関係>

- ・自然や緑が多くある。
- ・自然環境・豊富な地下水・田園風景・神社・城址公園。
- ・城址公園等でのいろいろなイベントや整備を行ってくれる。
- ・城址前の桜並木・歴史や文化。
- ・静かな住みよいまち。

<伝統・文化>

- ・伝統・文化を大事にしている。
- ・三熊野神社大祭等の祭りがある。
- ・歴史・伝統・文化がたくさん残っており、大切にしたい。
- ・歴史・伝統のある人情に厚い地区。

<全般>

- ・近所とのつながりの良さを大切にしたい。
- ・地域間や各字町がまとまっている。
- ・5月の鯉のぼりや七夕まつりは季節感を感じて、良い取り組みだった。
- ・山崎農村環境改善センターの継続利用と一般開放日を設け、自由に運動ができ、また遊べるようにしたい。
- ・人間的に穏やかである。

質問3. 大須賀第二地区の中で、整備又は改善すべきところはどんなところですか？

<交通関係>

- ・交通の便をよくする。
- ・石津バイパスの早期実現(市議会議員へ依頼)。
- ・西田町西の交差点等が危険なため、整備が必要。
- ・狭い道や田町通りの道でスピードの出しすぎや、路上駐車をやめてほしい。
- ・交通安全のために、東西田町の道路の白線を引き直してほしい。
- ・狭い道が多い。道幅を広くしてほしい。

<環境関係>

- ・放置地、山・道路ののり面等の草、雑木、崩れなどの整備・改善・対策。
- ・緑が多いのは良いと思いますが、手入れが全然できていない。日当たりも悪くなるばかりです。何とかありませんか？
- ・県外からも城址の見学にみえるので、周りの草刈りなどをもっと丁寧にしてほしい。
- ・ゴミ集積場所のカラス対策が必要。
- ・横須賀の湧水亭前の河川(下紙川等)の整備(雑草等の処理)

<災害関係(防犯・防災)>

- ・土砂災害や崖崩れの危険個所の整備と防止。
- ・防犯対策。
- ・北方道路等で町と町の間を外灯がなく、防犯に不安。街灯をつける働きかけを。第二地区の

主要道路に防犯カメラを一台でも多く設置し、犯罪を未然に防ぐ環境づくりを。

- ・イノシシなどの野生動物と自然災害への対策。
- ・津波避難タワーを設置してほしい。
- ・ハザードマップの作成等災害時に被害の少ない強い地域づくりが必要。

<施設関係>

- ・横須賀城址は城(建物や遺構等)もなく中途半端なので、整備してほしい。
- ・旧富士電機跡地等を利用し、子供の遊び場所等人の集まる施設を整備してほしい。
- ・子供から老人(高齢者)の憩いの場所が少ない(ない)。
- ・城址公園や坂下ノ谷公園・水神宮の整備。
- ・多目的センターの活用。
- ・多目的センターを修繕してほしい。

<地域活動・まちづくり>

- ・人を呼ぶおもしろみのあるまちづくりが必要。
- ・まち協や地区の役員や委員を統廃合し、役を増やさないでほしい。
- ・子供からお年寄りまで、全員参加のまちづくり。
- ・祭りが中心のため、町の活動に入れない30代から40代の人たちが参加できる方法を検討。
- ・まちづくり協議会の正・副会長くらいは3～5年程度できる人を選任し、事業計画すべきです。

<全般>

- ・買い物環境を改善する。
- ・車(自動車)が無くては生活しにくい。身近に歩いて行ける商業施設が欲しい。
- ・商工業の活性化の推進。
- ・住民個々一人一人の意識の持ちよう。
- ・横須賀地区と山崎地区の差。

質問4. 大須賀第二地区を、住みよいまちにしていくため、必要だと思うことはなんですか？

<交通>

- ・お年寄り(高齢者)のためにも、交通の便をよくする。
- ・高齢化に伴い、車の免許返納、日常の買い物ができなくなる日が真近に迫っています。買い物ツアーや買い物代行が定期的にできるシステムが必要。
- ・老人(高齢者)が増加している。交通、買い物のデリバリーが必要。
- ・例えば、各公民館を出発点にして、ロックタウンやココカラファイン・支所(JA や図書館)等循環できる車(小型バス・ワゴン車等)でお年寄りや子供たちが利用できるものがあればよいと思う。予算的に難しいなら、第二日曜日限定で、9:00～15:00の間循環してください。
- ・より交通ルールを守ること。(例:自転車走行や自動車の一時停止や速度、思いやり)
- ・安全な道路、街灯が欲しい。

<環境>

- ・若い人が帰って来る(住む、Uターンや移住等)町(区)にしたい。
- ・若い人が住みたいと思う町。少子化の改善。
- ・空き家が増えて気になるので、借家にして人口増加目的で、若い人たちに住んでもらいたい。
- ・地区内に企業が少ないため、勤務先の地区に住んでいる。企業誘致が必要。

・これからの高齢者社会を見据えた生活手段の確保を望む。土砂災害危険区域等に線引きされている世帯を含む地区の生活の確保を望む。今回の大雨の被害が他人事で終わらないためにも。

- ・景観が美しい静かな街づくり。
- ・道路、河川の整備。

<災害(防犯・防災)>

- ・イノシシ・ハクビシン等野生動物による被害の軽減。
- ・防犯、声掛け、助け合いの推進。
- ・土砂崩れが起こりそうな場所の整備。
- ・地盤が低く、水害となりやすいため、排水溝の構造改善及び清掃の実施。

<施設>

- ・自然と子供から老人(高齢者)までが集まり、井戸端会議ができるような場所があれば、情報交換やストレス発散に役立つ。
- ・子供たちが安全に遊べる大きな公園(城址公園・FDK 富士電気化学跡)
- ・山崎農村環境改善センターの継続利用と一般開放日を設け、自由に運動ができ、また遊べるようにしたい。
- ・地域交流センターなどの公共施設の充実。
- ・商業施設を充実させて、他町の人が足を運ぶ町にする。
- ・スーパー的なものが近くにないので設置してもらいたい。

<地域活動・まちづくり>

- ・各地区住民同士の交流を深める。
- ・町内・大人と子供の地域交流によりお隣さんとのコミュニケーションを大切にして、声を掛け合うことにより、住みよいまちに自然となっていくのでは。
- ・ちっちゃな文化展のような世間の人や地域住民が集まるイベントが必要。
- ・本当に必要な地域活動と不要な活動を再考慮する。
- ・30代・40代の世代のまちづくりへの参加。
- ・三世代の交流をもっと増やす。
- ・まち協の行事に参加し、他地区の人と交流を深めたい。

<医療>

- ・高齢社会に向けて、医療関係・店舗・交通手段の整備。
- ・高齢者の家に往診してくれる医療(病院)。

<福祉>

- ・第二地区に限らず、高齢になってからも安心して生活できる環境が必要(都市計画税は同じように払っても旧掛川市とは生活環境に差がある。大須賀地区を循環する乗り物等があればよい)。

<総合>

- ・とうもんの里を盛り上げて、農業・農家を応援していく地域でありたい。
- ・1区50世帯では、何もできない。字町の合併等。
- ・字町の合併を大胆に進めるべきだ。

- ・大須賀地区は静銀・バス路線がなくなり、コーニング・ジャパン(大淵の静岡工場)が縮小され、横須賀高校がなくなれば、掛川から取り残されてしまう。活気づく市政にしてほしい。
- ・公共施設の統廃合を市からのトップダウンにしないでほしい。
- ・まち協役員の当職をやめて、本当にまちづくりに意欲のある人が組織形成にあたる。

その他、ご意見がありましたら、ご記入ください。

<交通>

- ・車の運転ができないと生活できない。老後が不安。
- ・福祉バスや車いすの増車等福祉面での充実が必要。
- ・デマンドタクシー時間の制限や平日のみとなっているところ、改善してほしい。利用したいときの利用できない。とても便利なタクシーだと思っていますので。

<環境>

- ・北方道路における、無謀運転・騒音(エンジン・マフラー・スリップ)、ゴミのポイ捨て等の対策をお願いしたい。
- ・何年前か前までは石津センター前にお花がきれいに咲いていたのに、最近は見ませんね。またきれいにするといいね。
- ・安全、火災防止のため、更地、空き家の管理徹底を管理者に臨む。
- ・街中でイノシシを見た。よいまちとは思わない。
- ・人口減少を食い止める案があれば地域住民は協力します。学生を含む若い人たちの考えを聞けばいいと思う。
- ・人口増加と住みやすいまちづくりの手段を検討する。
- ・地理的にも山崎地区と横須賀地区の環境が異なる。どう調整していくのか課題である。

<地域活動・まちづくり>

- ・難しいことですが、大須賀地区は工場等の比較的無い所なので、過疎化していただけたと思います。地区民の楽しむイベントも必要かと思いますが、町おこし的なことも考えて、地区外に情報発信して、少しでも集客できるようなことも検討が必要ではないでしょうか。
- ・お互いできる人ができることをする。支え合える、やさしいまちづくりを望む。

<福祉>

- ・少子高齢化対策として、自治会・まちづくり協議会・福祉協議会等と連携していく。
- ・大須賀第二地区福祉協議会で支部3での福祉講座の開催希望。

<まち協>

- ・戸数・人口も減少している中で、役職を増やさないでほしい。
- ・まちづくり協議会で、組織としてよくするための改善をしてきたか？組織改革をすべし！役員が1年ごとに代わっていて、且つ毎年同じことをやっているようならば改善はできない。過去の役員等を交えての組織改革の話し合いをすべきである。
- ・第二地区がどこまでか知らない人が多い。まちづくり協議会は何を活動しているかわからない。何か良くなりましたか？
- ・当初の5カ年計画の達成度をよく分析し、新たな5カ年計画に生かしていくことが重要だと思われる。
- ・5年前にまち協ができたが、今、当時と何ら変わっていない。税金を使って活動している以上、

成果がなければやめた方がよい。

<その他>

- ・横須賀高校を移転(あるいは廃校に)しないようお願いしたい。
- ・子供は宝です。小祢里の時に、タバコを吸いながら祢里についている大人がいるが、絶対やめてほしい。
- ・新型コロナ感染者が出た時など、皆で嫌がらせして、村八分にするような地域であってほしくない。協力し合って、冷静に対処できるような地域でありたい。
- ・年寄り(高齢者)が多いまちだからとそちらにばかり配慮していると限界集落化してからでは遅いので、若者の好みも取り入れるべき。
- ・人は、種々の役をやらせてもらい、はじめて皆の気持ちがわかる。ご苦労様です。
- ・掛川市は市の外れ(市街地外)の場所に金を注ぎ込むべきだ。中心部ばかりでなく、市の周辺部から力を入れてください。
- ・各字町の人数が減っています。特に若年層が少なく、今後、役職を重複して行うようになると思います。区域の統合又は減らすことをお考え下さい。

大須賀第二地区まちづくり協議会 第二次5カ年計画

部会・委員会名	地域活性化 環境美化 地域安全 広報 企画委員会
5年後の あるべき姿	* 第一次スローガン・・・ふれあいや交流のある温かいまち ふれあいや交流のある温かいまち
既存の事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康体操教室（ヨガ、柔軟体操）の開催 ○ 第二地区エコ・ウォーキング大会の開催 ○ 七夕等飾り及びイベントへの協力 ○ 「福祉ふれあいまつり」へ協力
第一次5カ年計画 からの反省	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントにおいての役員以外の参加人数が少ない。 (ウォーキングに関して就学児童等参加しやすい時期等要検討) ○ まちづくりに対しての理解不足と興味不足がある。
今の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢化が進んでいる。 ○ 若い人たちが住みたくなるまちづくり。 ○ 各イベントにおいて参加人数を多くする企画、PR方法。 ○ 三世代交流のイベントの継続。
継続事業及び 新規事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ エコ・ウォーキング大会の開催 ○ 健康体操教室の開催 ○ 鯉のぼり、七夕飾り（横須賀城跡活用・共同事業）へ協力 ○ 三世代交流グラウンド・ゴルフ大会の開催 ○ 「福祉ふれあいまつり」（共同事業）へ協力
その他	

地域活性化部会 年度別計画

継続事業又は新規事業	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)
エコ・ウォーキング大会の開催	継続	→	→	→	→	→
健康体操教室の開催	継続	→	→	→	→	→
鯉のぼり、七夕飾り等へ協力	継続	→	→	→	→	→
ちっちゃな文化展へ協力	継続	→	→	→	→	→
三世代交流グラウンド・ゴルフ大会	継続	→	→	→	→	→
「福祉ふれあいまつり」へ協力	継続	→	→	→	→	→

大須賀第二地区まちづくり協議会 第二次5カ年計画

部会・委員会名	地域活性化 環境美化 地域安全 広報 企画委員会
5年後の あるべき姿	「第二地区ならではの住みよいまちづくり」 ※無い物ねだりをしない、少子高齢化・過疎化・老朽化・人手予算不足を受け入れ、自分たちでできることを少しずつ着実に積み重ねていく。 マイナス面の解消 → ゴミ回収、道路脇の雑草駆除 プラス面の推進 → 花のプランターの配置、遊休地の花壇化 * 「花の会」等との調整、要予算と人手→検討課題
既存の事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方道路の環境美化パトロール 年2回(令和2は1回) ○ 環境美化関連施設などの視察研修(年1回、令和2は中止) ○ エコ・ウォーキング大会での環境美化活動(令和2は中止) ○ 緑のカーテン(省エネ活動)はタネ入手困難で令和元年度より廃止
第一次5カ年計画 からの反省	<ul style="list-style-type: none"> ○ まち協・環境美化部会の人員・予算などの制約から、北方道路の環境美化パトロール 年2回(6月,11月) 環境美化関連施設などの視察研修(年1回・8月) エコ・ウォーキングでの環境美化活動(11月)を継続してきた。
今の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 限られた人員・時間・予算などを工夫活用してより効率的な活動にしたい。
継続事業及び 新規事業案 検討課題案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人員・時間・予算などの改善があれば発展的に事業計画を考える。 ○ 現時点では、既存事業をより効率化して環境美化を推進する。 北方道路の環境美化パトロールの実施 年2回(6月,11月) 環境美化関連施設などの視察研修(8月) エコ・ウォーキング大会での環境美化活動(11月) ※花のプランター配置、遊休地の花壇化については検討課題とする。

環境美化部会 年度別計画

継続事業又は検討課題	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)
北方道路の 環境美化パトロール 年2回	継続					
環境美化関連施設等視察研修	継続					
エコ・ウォーキング大会での 環境美化活動	継続					
※ 花のプランター配置、 遊休地の花壇化	検討 課題					

大須賀第二地区まちづくり協議会 第二次5カ年計画

部会・委員会名	地域活性化 環境美化 地域安全 広報 企画委員会
5年後の あるべき姿	<p>「自らつくる安心安全の住みよいまち」 ～命を守るために自助、共助、公助～ *第一次スローガン：自らつくる安心安全の住みよいまち</p>
既存の事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「あいさつ運動」の実施（7月,8月,12月,1月）令和元年まで。 ○ 掛川警察署による出前講座（特殊詐欺）の開催。 ○ 防犯灯の確認及び地域パトロールの実施。 ○ 自主防災アンケートの実施。 ○ エコ・ウォーキング大会への協力。（横断歩道等での交通安全） ○ 消防署と消防団との連携訓練の実施。 <p style="text-align: right;">（地域防災訓練へのアドバイスなど）</p>
第一次5カ年計画 からの反省	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「あいさつ運動」は一定時期実行により令和2年に廃止した。 ○ 年度ごとの各事業の見直しがなされていない。 ○ 部会参加者が交代するので継続性がなく、部会活動での経験が地域での活動に反映されていない。横への広がりがない。 ○ 消防団との連携が薄い。 ○ 初年度提出された地区防災計画の見直しや活用がされていない。 ○ 早い時期での次期・正副部長の人事決定が必要。
今の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部会の目的を防災に定め、自主防災に繋げてゆく。 ○ 継続性を持たせて事業を推進してゆく。 ○ 消防団と部会の連携できることを事業に取り入れていく。 ○ 各自主防災委員の活動力強化をしていく必要がある。
継続事業及び 新規事業案	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第二地区の新たな防災組織づくり。 ○ 各地区字町での自主防災組織の確立。

地域安全部会 年度別計画

継続事業又は新規事業	R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)
第二地区の新たな組織づくり	新規	→				
各字町の自主防災組織の確立	新規	→				
消防署・警察署を招き 住民の防災意識を向上させる	継続	→				
エコ・ウォーキング大会へ協力	継続	→				
消防署・消防団との連携	継続	→				

大須賀第二地区まちづくり協議会 第二次5カ年計画

部会・委員会名	地域活性化 環境美化 地域安全 広報 企画委員会
5年後のあるべき姿	「笑顔でつながるみんなのまち」 (各団体の身近な情報も収集し、紙面に反映させる) まち協の理解を深め、認知度を高める。 *第一次スローガン：みんなが笑顔でつながるまち
既存の事業	○ 広報誌「まち協瓦版」の年4回(5月,9月,12月,2月)発行。 ○ 各部会・委員会事業等の回覧板用チラシ等への制作協力。 ○ 令和2年より「地域散歩のページ」を増やした。
第一次5カ年計画からの反省	○ 紙面の制作等で従来から永田稔男さんに頼りすぎていた。 ○ 比較の見やすい紙面を心がけている。(イラスト等を挿入) ○ 各地区、各部会等を中心にした地域の活動を紹介した。
今の課題	○ 今後作業分散を図りながら、後継者育成も同時に図りたい。 ○ 事業等の情報(自治会や消防団など)が少ない。 ○ 時期や諸事情により情報量のばらつきがある。
継続事業及び新規事業 検討課題等	○ 「編集会議」の実施。 ○ 年4回(5,9,12,2月)「まち協瓦版」の発行。 ○ 読者アンケートの実施(読者モニターの募集と登録) ○ SNSを利用したイベント等の情報発信及び広報活動の広げ方を探る。 ○ 掲載記事の作業分担及び編集後継者の育成。

広報部会(まち協瓦版編集部) 年度別計画



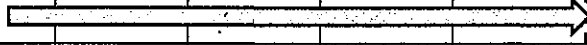
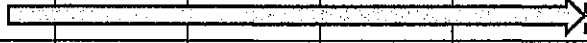
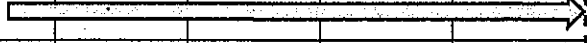
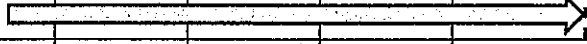
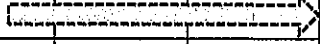
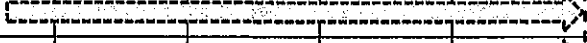
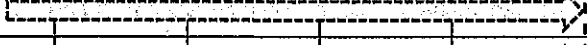
継続事業 新規事業及び活動研究・検討	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
広報誌「瓦版」の発行(4回)	継続	→	→	→	→	→
編集後継者の育成	検討	→	→	→	→	→
SNSを利用した 広報活動の研究	検討	→	→	→	→	→

大須賀第二地区まちづくり協議会 第二次5カ年計画

<p>部会・委員会名</p>	<p>地域活性化 環境美化 地域安全 広報</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">企画委員会</div>
<p>5年後の あるべき姿</p>	<p>「地域の将来をみんなで考えます」 *第一次スローガン：地域の将来をみんなで考えます</p>
<p>既存の事業 ※当委員会は 現在発足3年目 R2は一部実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 地域、まちづくり活動の参考となる視察研修の企画実施。 ◎ 横須賀城跡活用イベント… 「鯉のぼり」「七夕飾り」「歴史探索」等企画と開催。 ◎ 福祉協議会との「福祉ふれあいまつり」の共同開催。 (協力内容：川柳とバルーンアート他) ◎ 「エコ・ウォーキング大会」への協力。 (協力内容：甘酒のサービス振る舞い) ◎ 「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」へ協力… 西田町の湧水を使った山崎地区産煎茶の無料ふるまい。 ◎ 歴史探索（横須賀城跡ほか） ◎ グラウンド・ゴルフ大会の開催（城跡公園・北の丸広場）
<p>第一次5カ年計画 からの反省</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントの集客方法として広報、宣伝が不十分であった。 ○ 集客の方法として、回覧板以外でもPR宣伝する方がいい。 ○ 多数の集客を集めることが大切であるが、 継続的にイベント等を実施することも大切な事である。 ◎ 企画委員は、地区内での名簿記載がなくボランティア的で、 他の役割との重複であったので、非常に忙しかった。
<p>今の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企画委員や広報部員（創造集団）の後継者の人材育成が必要。 ○ イベント等のPR宣伝の周知方法がやや弱い。 (回覧板やポスターだけでは弱い) … 経費増が懸念。 ○ もっと女性や若者の参加・協力を増やしたい。
<p>継続事業及び 新規事業案 検討課題案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上記、従来実施の「地域交流事業」継続を希望する。 城跡活用イベントの（地域活性化部会との共同）開催 (鯉のぼり飾り、七夕飾り他) 「福祉ふれあいまつり」への協力 「エコ・ウォーキング大会」への協力 「遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」への協力

<p>継続事業及び 新規事業案 検討課題案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横須賀城跡の整備計画への協力（提案） （例：三の丸発掘調査、三の丸整備計画へ提案） ・ 地区内寺社とのコラボ企画 （例：沢上町の窓泉寺での法話と親子座禅会） ・ 地区内の散歩コースの作成 （例：横須賀、山崎、本谷、城跡、寺社祠巡り） ・ 横須賀城等の歴史勉強会の開催、地区案内人の養成、 観光ボランティア人員の育成。 ・ 第二地区の“普段は絶対見られない特別な見学会”の開催。
<p>その他 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 城跡三の丸における発掘調査及び整備計画の立案が行われるにあたり、 地元住民の地区要望として意見を集約し、提出したい。 ○ 人口減少と少子高齢化による地域の活力減少を食い止める策を念頭に置きたい。 ○ 地区内におけるまち協の認知度を高める企画の提案を念頭に企画を立案したい。

企画委員会 年度別計画

<p>継続事業 新規事業または活動研究検討</p>	<p>R 3 (2021)</p>	<p>R4 (2022)</p>	<p>R5 (2023)</p>	<p>R6 (2024)</p>	<p>R 7 (2025)</p>	<p>R 8 (2026)</p>
<p>城跡活用イベント「鯉のぼり」開催</p>	<p>継続</p>					
<p>城跡活用イベント「七夕飾り」開催</p>	<p>継続</p>					
<p>「エコ・ウォーキング大会」へ協力</p>	<p>継続</p>					
<p>「福祉ふれあいまつり」へ協力</p>	<p>継続</p>					
<p>「ちっちゃな文化展」へ協力</p>	<p>継続</p>					
<p>「寄せ植え教室」の開催</p>	<p>継続</p>					
<p>横須賀城三の丸整備計画へ提案</p>	<p>新規</p>					
<p>歴史講座や地域探索講座の開催</p>	<p>新規</p>					
<p>寺社等とのコラボ企画</p>	<p>検討</p>					
<p>地区内 散歩コースの作成</p>	<p>検討</p>	